

給料も売上も年金も増えてないのに…ヽ(*`∩´*)ノ≡☆ケツカラン!!

市長も議員も報酬アップ!?

学校給食、保育料が値上げに…

児童生徒が毎日楽しみにしている小中学校の給食。物価上昇、消費税8%も現場の努力で16年間据え置いてきました。H27年4月からは、小学校で月4200円↓4300円へ、中学校は月4900円↓5100円へ値上げする方向です。3人のお子さんを持つお母さんは、「中学生と小学生の2人分で毎月300円、年3600円の負担増はキツイ」と話します。

人事院勧告に従って…政治家としての判断を棚上げ

議員報酬引上げ 総額224万2000円

対象	引上げ額
市長	2,579,615円 (※今年は2,321,654円)
議長	98,000円
副議長	88,000円
議員	82,240円×25人分

サラリーマンの可処分所得は12ヶ月連続で減少。高齢者の年金も削減、消費税8%で市内事業所も赤字です。消費の落ち込みが深刻で、国会は解散。消費税10%も先送り：こんなご時世に、「報酬引上げて…感覚が分からない」と怒りで市民の声が震えるのも当然です。

※市長は、公金横領事件を受け、H26年7～12月まで報酬減額中。そのため、報酬引上げ額は満額にはなりません。

また保育料も、27年度分から高額所得者ほど負担が軽く、所得が少なく、子どもが多い家庭ほど負担が重くなる仕組みに。しかも、段階圧縮(23↓21段階)で、中間所得階層も重い負担となります。総選挙も、来年の市長・市議選も、税金のムダ使いはそのままに、負担増を強いる勢力か、対峙できる勢力か…二者選択が問われます。

国民は生活が大変なのに、大義がない総選挙で税金を数百億円を使う。「市職員は給料が高い」「定数削減で身を切れ」と話す議員は報酬アップ…ホント信じられません。議会・議員の役目は、市長・議員の報酬引き上げに厳しく対峙し、少なくとも据え置くとともに、4年毎に支給され、東葛地区の現役市長で一番高額な市長退職金を凍結することです。総選挙の投開票後に市議会閉会日を迎えます。「報酬アップは控えよう」という世論を総選挙で示しましょう！(怒)



市議会議員

小田桐たかし

消費増税は社会保障のため…実態は真逆に



介護保険料 平均月4590円→4980円へ 値上げ

保険料段階は13↓18段階へ拡大

消費税が増税されても、年金支給額の減少、年金保険料の引上げ、後期高齢者医療保険料の値上げ：社会保障は良くならず、今度は介護保険です。

11月18日市議会全員協議会で報告された『流山市高齢者支援計画（H27～29年度・第6期）素案』では、介護保険料の基準額は月4590円↓4980円へ値上げされることになることが明らかにされました。保険料段階は13↓

18段階へ拡大し、前回よりは、負担能力に応じた設定に改定されます。

しかし、年金が削減され、物価高・消費税8%で生活苦がこれまで以上に広がっている下で、月1375円～9167円の負担が、月1833円～1万2433円へ全ての段階で値上げされることから、少ない年金の人ほど重い負担となり、必要な介護が受けられず、家族負担の増大、介護度の悪化が心配されます。

29年度以降、ヘルパーさんが来ない？

保険料の値上げと同時に深刻なのが、介護予防サービス（※）が必要な人への支援です。

介護までには必要なくとも、ヘルパーさんの援助をうけ、また週に1～2度、施設に通い、利用者と交流したり、入浴等で機能を維持しながら、自宅で生活を送ることができている高齢者が地域には多くいます。また親の日常生活をヘルパーさんが支えているから、仕事が続けられるという家庭も少なくありません。

しかし、H29年度以降、介護予防の訪問介護や通所介護のサービスが廃止に。介護予防の大黒柱ともいえるべき訪問介護・通所介護が使えなくな

れば、『保険あつて介護なし』という実態になってしまっているのではないのでしょうか。

政治を正し、社会保障の充実を柱に据えた政治へ切り替えましょう。

※介護予防サービスとは、要支援1・2と判断された方が、要介護状態にならないよう身体機能の維持・向上を図るサービスのこと。

年度		27年度	28年度	29～37年度
利用延人数	訪問介護	1715人	31人	0人
	通所介護	2786人	23人	0人